

白山 三方崩山

田村

【日時】 2009年11月22日 (日)

【メンバー】 L田村、佐貫、棚橋

この11月3連休は、年末の白山計画の予備として、当初石川県側から本峰への周遊ルートを考えていた。しかし急行能登とレンタカーを使って登山口の白山一里野まで行くと、信じがたいような大雨。車内で相談した結果、本番の計画は乗越しをせず、大汝峰を間名古屋の頭からアタックすることとして、今回の予備山行は入山路の三方崩山を往復することにした。

スーパー林道は冬期通行止めなので、金沢まで戻って回り込む。途中地図を買ったり、北陸の海の幸を堪能したり、五箇山の山の幸を探し求めていたら、あっという間に一日が終わってしまった。

11/22 曇り時々晴れ

登山口は、仮泊した「道の駅飛騨白山」(平瀬温泉)にちょうどあった。しばらく車道を歩き、30分ほどで終点へ。ここから晩秋の林をジグザグに登っていく。ほどなく尾根に乗るが、佐貫さんの腰の調子が良くない。急行での不自然な体勢が響いたらしい。この先、道は急斜面をトラバースしている。年末なら尾根通しに登らないといけなかもしれない。このあたり太いブナ森が美しい。もう少し上がったところで佐貫さんは引返し、あとは二人で登る。次第に雪が出てきた。1600mを越えたところから、徐々に崩壊地やガレ場の登りが出てくる。しかしいずれも短く、さほどの困難ではない。1900mより先でアイゼンを付け進む。この頃より上部のガスも取れ、北アや御嶽も遠くまで見えるようになった。最後は回り込むようにして山頂へ。まだ雪が少ないため、本番で進む予定のこの先のササ藪はそのままだったが、多分年末には問題ないだろう。下りはアイゼンのダンゴに難儀しながら、冬の世界からまた秋へと戻ったのだった。



【行程】

11/22 道の駅発(7:00)～車道終点(7:40)～1000m
尾根(8:00)～1620m(9:45)～1920m(10:45)～山頂(11:45)～道の駅(14:50)

【地図】平瀬、新岩間温泉